



## 新年、明けましておめでとうございます！

新年、明けましておめでとうございます！年末年始はおじいちゃんやおばあちゃん、いとこや普段なかなか会うことができない人に会うなど、子どもたちにとっては楽しい時間になったのではないかなと思います。

さて、今日から2025年のめだか教室が始まります！めだか教室も残すところあとわずかとなりましたが、今年もおうちの方と子ども達が楽しく安心して過ごせるような教室になればと思っています。今年もよろしくお願いいたします！！



### ◆子どもの「イヤダ！」に、どうつきあう？◆

子どもの「イヤダ！」に手こずったことは、子育てや保育にかかわった方ならほとんどが経験済みだと思います。なぜ、おとなの言うことを聞かずに「イヤダ」と拒否の意思表示をするのか。これについては、多くの発達心理学者が研究してきました。自我の発達として、一歳過ぎから二歳ごろにかけての発達過程でみられる事象だといわれています。

私が気になっていること。それは、一歳や二歳の時期だけではなく、幼児期や学齢期になっても、あるいは中学生になってからの「イヤダ」に手こずっている相談もよくある、ということです。「イヤダ」は、子どもが小さいときだけではなく、大きくなってからもまだまだ親や先生を困らせることがある、ということ、広く知ってもらいたいと思います。

どんなことであれ、「イヤダ」は子どもの大切な意思表示です。頭ごなしに否定したり、拒否したりするような性格のものではありません。それは何歳になっても同じです。

「お風呂に入ろう」と誘っても、子どもからは「イヤダ」の返事しか返ってこないときには、あわてず、叱らず、イライラせず。「そうだね、お風呂に入るのがイヤ

なんだね」と、子どものイヤな気持ちに共感するお返事を。どんなイヤダにも、「イヤなんだね」と受け止めて返すのがベストです。まず自分の気持ちをわかってもらうという経験が、子どもにとってコミュニケーションを体感するスタートラインだからです。～中略～

小さいときに子どもが発してくれる「イヤダ」は、親としてこれから直面するかもしれないもっとドキッとするような「イヤダ」に出会ったときに、あわてず迷いなく「イヤなんだね」と共感できるための練習をさせてくれているんだと思います。

「そうだね」と子どもにかけられる言葉は、甘やかしても、言いなりとも違います。むしろ、それは、子どもががんばることができる、子どもの気持ちを強くする言葉です。なぜなら、子どもがいちばん求めている共感の言葉だから。おとなにわかってもらえたら、苦手なことでも、イヤなことでも、子どもは乗り越えていくパワーを身につけます。

参考文献：『いつからでもやりなおせる子育て 第2章』池添 素 著



### 次回のめだか教室は…

①2月のめだか教室は、ありません ②2025年 2月 25日(火)

→次のめだか教室は…

時間：9時20分～11時30分

3月 11日(火)です！！

活動：段ボールすべり台

活動は、段ボールすべり台をします！

持ち物：シューズ、水筒

※めだか教室②の方は、今年度最後になります！！

たくさん楽しみましょう！！



### 【参加される皆様へ】～ご協力をお願いします～

- ・ お休みされる場合は、学園までご連絡ください。
- ・ 参加費は無料です。(おたよりはホームページに記載され、通信費が必要ない為) 製作やクッキングの活動の時には、材料費として100円いただきます。その都度連絡します。
- ・ 草笛学園の遊戯室での活動となります。
- ・ 靴は靴箱に入れてください。
- ・ 水分補給の為、お茶を準備してください。(ジュース類は控えてください)
- ・ きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は、事前に職員までご相談ください。
- ・ トラブルによるけが防止のため、参加前に必ず爪を切ってきてください。